

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	令和5年度宮崎管内道路事業整備効果検討業務
業 務 概 要	宮崎河川国道事務所管内整備効果検討 1式
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 宮崎河川国道事務所長 松村 知樹 宮崎市大工2丁目39番地
契 約 年 月 日	令和 5年 7月21日
契 約 業 者 名	中央復建コンサルタンツ（株）
契 約 業 者 の 住 所	宮崎県宮崎市生目台西3-8-2
契 約 金 額	34,980,000円（税込み）
予 定 価 格	34,980,000円（税込み）
随意契約によることとした理由	
業 務 場 所	宮崎河川国道事務所管内
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 (自)	令和 5年 7月22日
履 行 期 間 (至)	令和 6年 2月29日
備 考	

契約理由書

1. 業務件名 令和5年度宮崎管内道路事業整備効果検討業務
2. 履行場所 宮崎河川国道事務所管内
3. 契約の相手方 住所：福岡県福岡市博多区祇園町4番61号 FORECAST博多祇園
会社名：中央復建コンサルタンツ株式会社 九州支社
電話：092-282-0441

4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、「一般国道220号日南・志布志道路」及び「一般国道220号油津・夏井道路」について事業再評価の資料作成、「一般国道220号（東九州自動車道）南郷（仮称）～奈留（仮称）」については整備効果等の作成を行う。

また、宮崎県内における社会経済の現状や将来像を踏まえ、広域的な道路交通の現状課題の抽出・整理、将来交通需要予測等を実施し、中長期の幹線道路網計画の検討を行うものである。

2) 業務の内容

- | | |
|--------------|----|
| ○計画準備 | 一式 |
| ○事業再評価資料作成 | 一式 |
| ○整備効果検討・資料作成 | 一式 |
| ○幹線道路網計画の検討 | 一式 |
| ○報告書作成 | 一式 |

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低20者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を28者が入手（ダウンロード）し、3者から参加表明書が提出され、3者が参加資格を有していた。

参加資格を有する3者を技術提案書の提出者として選定し、3者から技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、実施方針及び特定テーマに係る技術力を備えていると判断される。

特に「実施方針・実施フロー、工程表、その他」の「有効な代替案、重要事項の指摘」が具体的に記載されていること、及び評価テーマの「東九州自動車道の一部をなす『一般国道220号日南・志布志道路』及び『一般国道220号油津・夏井道路』の事業評価資料を作成する際の留意点について」に対する技術提案において、「的確性」における「提案内容」が適切であり、総合的に優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記契約の相手方と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

宮崎河川国道事務所 計画課長